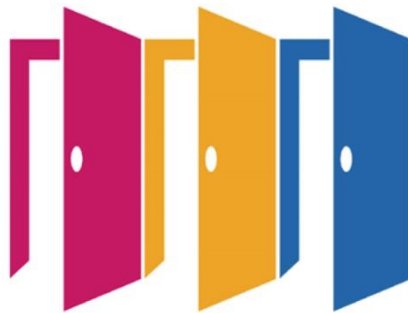


国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

ロータリーで良いことをしよう

高田ロータリー
今年のスローガン

変化を楽しもう



ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度

国際ロータリー会長 **ホルガー・クナーク**
2560地区ガバナー **佐藤 真**
高田ロータリー会長 **大島 誠**
幹事 **伴 長門**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員会：
齋藤 尚明・飯塚 宏佳・佐藤 信・川崎 直哉・齋藤 俊幸

第 18 回例会 ◆ 11 月 20 日(金)

No.18

会長挨拶 ●大島 誠



皆様こんにちは。お元気ですか？

本日の卓話は、11月28日から12月13日まで行われる社会奉仕委員会のメイン事業に関するお話しです。お二人の卓話者にご登壇いただきますので、異例ではありますが本日は12時55分から、卓話を開始させていただきます。

卓話者のお一人目はNASCのセンター長の坂野さんです。NASCとは「新潟アールブリュット サポートセンター」の略称で、県内の障がい者芸術の掘り起こしと発信を行っている組織です。社会福祉法人みんなでいきるの中に事務局が置かれ、新潟県を始め中部地区8県の障がい者芸術活動の推進役を担っています。

卓話者のお二人目は くびき野NPOサポートセンターの事務局長の近藤さんです。くびき野NPOサポートセンターは、高田ロータリークラブの会員の皆様にも大勢 会員として活動を支えて頂いておりますが、上越地域の市民活動の推進役を20年以上に渡り務めておられます。現在は「フードバンクじょうえつ」の事務局も兼ね、上越地域で様々な理由から日々の食事に困っているご家族の支援に乗り出しています。

本年度社会奉仕委員会では、この2つの組織を結びつける事業に挑戦します。どのような事業かは後ほど霜村委員長の説明をお聞きください。是非とも皆様に関心を持って頂き、ご協力をお願いいたします。

出席報告

94.64%

ビジター

横山孝雄君、東條邦昭君（新井妙高 RC）
市村雅幸君（高田東 RC）

委員会報告

出席ニコニコ BOX 委員会
市村雅幸君（高田東 RC）：高田さくらロータリー
衛星クラブの設立おめでとございます。

橋本眞孝君：この度県知事賞を頂戴しました。これも皆様のお力添えと深く感謝申し上げます。有り難うございました。

齋藤尚明君：会員の山田守さんが会長をしている第38回くびきの陶芸展が明日21日(土)22日(日)23日(月)の3日間 田中産業向いの上越市民プラザで開催されます。23日3時から私の解説会もありますのでぜひお出掛け下さい。

米山奨学委員会 寄付のお願い
高田さくらロータリー衛星クラブ 発足式の御礼

会員インフォメーション



早川 清君 退会の挨拶

幹事報告

配布物：週報No.16.17、2020-2021 年度現況報告書、
ガバナーレターNo.5、高田駐屯地広報「妙高4号」
回覧物：新会員推薦カード
報告：11月27日 祝日振替休会日

卓話

フクシ×アート×デザイン展の展望について

新潟県アール・ブリュット・サポート・センター
センター長 坂野健一郎様



(福)みんなでいきるでは、障害のある方の表現活動を中心に芸術文化活動の推進を行っている。2015年より毎年上越市内で展示会を開催してきたが、作家本人への収入の確保にはつながっていなかった。

今回、高田ロータリークラブ様からの支援を受け、はじめてグッズの制作を通じて作家本人への収入につながるプロジェクトにチャレンジしている。

自身の作品をグッズ化してみたい方を新潟県内に公募したところ、36名の応募がありうち10名の作家の作品が選ばれた。

作品はハンカチ・スツール・クッション・段ボールなど様々なグッズのデザインに使われ、2020年11月28日～12月13日の間で実施される展示会で販売する(原画の販売も有り)。

また経費を除いた売り上げ金を全てフードバンク上越に寄付を行う。

一般的に支えられるイメージが強い障害のある方がこのプロジェクトを通じて支援する側に回ることができ、新しい社会の仕組みとして面白味を感じている。

(福)みんなでいきるでは、今回の取り組みを一過性のものに終わらせることなく常設のショップの事業展開も検討している。



卓話

フードバンクじょうえつの取り組み紹介

くびき野 NPO サポートセンター/フードバンクじょうえつ
事務局長 近藤尚仁様



今年4月から上越地域で「フードバンクじょうえつ」を開設しました。「フードバンク」とは、まだ食べられるのに棄てられる食品を、食べ物を必要としている人に届ける活動です。もとはアメリカで始まった活動ですが、日本でも食品ロスの問題や貧困世帯の増加を背景に多くの地域で広がっています。現在フードバンクじょうえつでは、地域の企業や団体、個人の皆さまから食品を寄付していただき、生活困窮や障害者、高齢者、外国人等を支援している行政窓口や福祉団体、こども食堂といった支援機関に食品を提供しています。また私たちも参画し、県内11団体のフードバンクでつくる「新潟県フードバンク連絡協議会」では新型コロナ対応として、特に支援が必要な県内のひとり親世帯に向け、宅急便などで直接食品を届ける事業も展開しており、これまで延べ三千件を超える支援を実施しました。

活動を始めて、農業の盛んな上越でも食べ物に困っている方が大勢いらっしゃる現状が見えてきました。高田ロータリークラブ様からの支援をそうした方々の支援に役立てたいと考えています。